

## NASVAプレスリリース

平成27年10月6日

交通事故被害者交流会などの各種  
「交通安全のイベント」も実施します

独立行政法人自動車事故対策機構  
新潟主管支所 橋本、大町  
電話 025-283-1141

自動車アセスメント試験車両展示等によるNASVAの広報活動を行います！！

### ～北陸信越地域で初めての展示～

独立行政法人自動車事故対策機構【NASVA（ナスバ）】は、10月29日（木）から31日（土）の間、「アオーレ長岡 ナカドマ」にNASVAブースを設置し、NASVAの事業の広報活動を実施します。公開式典は、10月29日の10:00～10:30に行います。

今回は、北陸信越地域で初めて、安全性能の高い自動車の普及を目的として実施している「自動車アセスメント」事業において安全性能の最高評価（JNCAPファイブスター賞）を獲得した自動車の展示（実際に試験を行ったもの）を行います。

また、シートベルトを使わない簡単・確実・安全なチャイルドシートの取付や、運転時の傾向等を把握するための適性診断の体験の場も設けます。

併せて、交通事故の影響で重度の後遺障害者となった方の創作作品の展示や、最終日には交通事故の被害者の交流会も実施します。

ご多忙の折とは存じますが、取材の検討を賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

### ○自動車アセスメント試験車両展示（写真はイメージ）

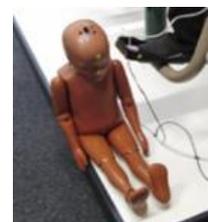
万一の事故の時でも車内空間が保たれているなど、最高評価の自動車の安全性能をご覧ください。



※報道機関の皆様には、高速度カメラで撮影した二次使用可能な様々な試験映像（DVD）を差し上げます。

### ○シートベルトを使わないチャイルドシート取付体験（写真と図はイメージ）

シートベルトを使わない「簡単」「確実」「安全」なISO-FIX対応チャイルドシートの取付体験を実施します。新潟県は全国の中でもチャイルドシートの使用率が低い（全国平均62.7%のに対して新潟県は45.3%、詳細は末尾）状況となっているので、これを機に使用される方が増えることを期待しています。



## ○適性診断体験受診（写真はイメージ）

適性診断は、事故防止の観点から、自身の運転時の傾向等を把握していただくために実施しており、全国で年間約46万人のドライバー（主にバス、トラック、タクシーといったプロドライバー）の方々に受診していただいています。

期間中は、お子様から高齢者まで、運転シミュレーションや視力検査など、実際の適性診断を体験していただくことができます。



## ○被害者の創作作品の展示（写真はイメージ）

事故による苦しみが続り返されない社会の実現を願う被害者の創作作品（絵画等）を展示します。



※事故で手が不自由になったため口を使って絵を描く方の作品も展示します。公開式典にはご本人も参加します。

## ○交通事故被害者交流会（写真はイメージ）

新潟県内の交通事故被害者（遺族や重度後遺障害者）の方をお招きして、自動車アセスメント等をテーマにした交流会を行います。



## ○概要

### 1. 日時

○公開式典 平成27年10月29日(木) 10:00～10:30

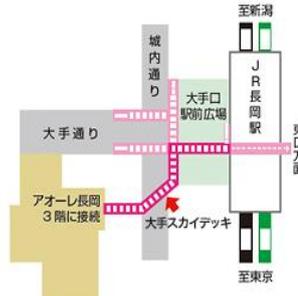
○車両展示等 平成27年10月29日(木) 10:30～17:00

平成27年10月30日(金) 10:00～17:00

平成27年10月31日(土) 10:00～15:00

○交通事故被害者交流会 平成27年10月31日(土) 10:30～15:00

2. 場所 アオーレ長岡 ナカドマ(屋根付き広場) JR長岡駅徒歩3分 新潟県長岡市大手通1丁目4番地10



3. 協力 国土交通省 北陸信越運輸局

(参考)

## ○自動車アセスメント

自動車アセスメントとは、市販されている自動車やチャイルドシートについて安全性能評価試験を行い、その結果を公表することで、ユーザーが安全な自動車・チャイルドシートを選択できる環境をつくり、安全な自動車・チャイルドシートの普及を図ることを目的としています。



(主な試験)

○フルラップ前面衝突試験



○オフセット前面衝突試験



○側面衝突試験

自動車アセスメントでは、衝突安全性能について最高評価を受けた自動車に対して、JNCAPファイブスター賞として表彰し、以下の表示ができることとしています。

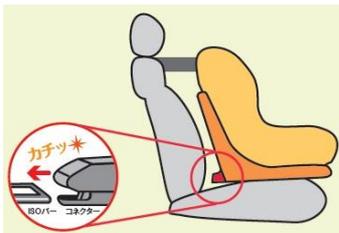


また、平成26年度より、衝突被害軽減ブレーキと車線逸脱警報装置の評価（予防安全性能アセスメント）も始めました。



なお、NASVAは、国土交通省からの指定（大臣告示）により、自動車アセスメントに係る実務を行っています。

## ○ISO-FIX対応チャイルドシート



チャイルドシートのミスユース(腰ベルトの締付け不足等)は6割にのぼっています(警察庁調査結果)。ISO-FIX対応のチャイルドシートは、シートベルトではなく共通取付具で座席とチャイルドシートを固定するため、簡単・確実に取付ができ、アセスメント試験でもシートベルト装着方式より安全性が高い結果が出ております。

※2012年7月以降発売の自動車は全てISO-FIXに対応しており、それ以前も多数対応の自動車があります。

### ○独立行政法人自動車事故対策機構（NASVA：ナスバ）

NASVAは、人と車の共存を理念として、自動車事故の発生防止及びその被害者への援護のために、主に次の業務を行っています。



- ① 安全な自動車の普及促進のために、公正中立な立場で自動車の安全性能を評価し、効果的に周知する自動車アセスメント事業を実施
- ② 自動車事故の発生防止のために、
  - 運行管理者等指導講習により、運行の安全確保に必要な管理手法の習得を支援
  - 運転者適性診断により、安全運転のためのきめ細かなアドバイスを実施
  - 安全マネジメント講習会等により、事業者による安全マネジメントを促進
  - 運輸安全マネジメント評価・コンサルティング等により、個別事業者の安全マネジメントを支援
- ③ 自動車事故による被害者の方のために、
  - 介護料の支給や医療施設の設置・運営による重度後遺障害者への援護
  - 育成資金の無利子貸付や友の会の運営・家庭相談による交通遺児等への援護

※NASVAの事業についての詳細は、NASVAホームページ (<http://www.nasva.go.jp>) をご覧下さい。

### (参考資料)チャイルドシート使用状況全国調査(2015) 警察庁／日本自動車連盟(JAF) (抜粋)

都道府県別チャイルドシート使用状況調査結果(6歳未満全体)

